



# 6月の園だより

太陽の子保育園 令和3年6月号

初夏というには暑い日々が続いていましたが、時折吹く心地よい風がさわやかな気持ちをもたらしてくれます。畑の夏野菜たちは、蒸し暑くなる前にひと休みしているようです。

いよいよ梅雨に入りますね。梅雨の時期になると各クラスでは「てるてる坊主」がぶら下がっています。ちなみにこの「てるてる坊主」、平安時代に中国から伝わってきたようです。中国では「掃晴娘(そうせいじょう)」と呼ばれる、ほうきを持った女の子の紙人形を吊るして晴天を祈っていたそうです。日本では、天気に関する祭りを司っていたのが主に修行僧であったために、女の子ではなく僧侶(坊主)がモデルになっています。

これから梅雨入りを迎え、戸外に出る機会は少なくなるかもしれませんが、子どもたちとてるてる坊主を作り、雨の季節を楽しく過ごせる工夫をしていきたいと思えます。また、雨音を聞いたり雨粒に触れたり、梅雨ならではの自然を感じる機会も大切にしていきたいです。

手洗いがいや衣類の調節など、衛生・健康面に十分気を付けながら、じめじめとした空気を吹き飛ばし元気に6月を過ごしていきます。

## 7月5日はプール開き(予定)です



### プールでのお願い

- 朝食は必ずとりましょう
- 朝、必ず体温をはかり、健康状態をよく見てください。熱のあるときや体調の悪いときは入水できません。
- 雨天、気温の低い日、強風、行事のある日等はプールに入りません。
- 耳あかをとり、手足のつめを短く切っておきましょう。
- 病気がかかっている人は、早く治療をしておきましょう。特に健康面で心配なことがありましたら、事前にご相談下さい。
- 入水後は非常に疲れますので、休養をしっかりとするなどして、体調管理に気をつけましょう。

プールや水遊びにつきましてはプール水の遊離残留塩素濃度を適切に管理した上で通常通り行います。プールについては「今年度における学校の水泳授業の取扱いについて(スポーツ庁・文部科学省)」において、プール遊び自体は感染リスクが低いと示されています。ただ、複数クラスによる合同授業がもたらす密集・密接のリスクについては対策を講じるべきとされています。保育園でのプール活動はクラスごとでの実施となりますので、特段リスクが高くなるとは考えづらく、通常通りの実施とさせていただきます。



## 6月の予定

- 7(月) 太鼓指導(らいおん)
- 8(火) 避難訓練
- 10(木) 音楽指導(幼児)
- 10(木) 歯磨き指導(らいおん)
- 14~18 身体測定
- 15(火) 体育指導(幼児)
- 16(水) 虫歯予防集会(幼児)
- 18(金) お誕生日会
- 22(火) 保健指導(らいおん)
- 25(金) 職員会議
- 29(火) 視力検査(らいおん)
- 30(水) 視力検査(くま)

## 7月の予定

- 5(月) プール開き
- 6(火) 体育指導(幼児)
- 7(水) 七夕会(誕生)
- 9(金) 調理保育(ぱんだ)
- 12~16 身体測定
- 14(水) 職員園内研修
- 17(土) SUNSUNまつり
- 20(火) 避難訓練
- 21(水) 調理保育(らいおん)
- 28(水) 保健指導(らいおん)



感染症の状況やそれに伴う行政からの通知などにより、予定が変更となる場合がございます。その際は改めてご連絡させていただきます。

## 衣替えについて



日に日に暑くなり、子どもたちも水を触ったり汗をかいたりして、着替えをする回数が増えています。園にある服を夏服にして、十分な着替えの用意をお願いします。またこの機会に、名前が消えていないか確認しておいてください。

## 保育園での子どものマスク着用について

保育園内での子どものマスク着用については、日本小児科学会の提言(下記参照)を踏まえ、必須とはせず、保護者の方の希望に応じた対応とさせていただいています。ただ、園庭や散歩など外あそび、プール遊びの際には、十分な呼吸ができなくなるリスクや熱中症になるリスクが指摘されていることから、マスクを外させていただきます。

職員のマスク着用については今後も継続して行います。ただ、外あそび(プールあそびを含む)の際には、熱中症のリスクを考慮し、一時的にマスクを外すこともあります。ご理解の程よろしく申し上げます。



日本小児科学会

2020年6月11日  
2021年4月14日更新

### 乳幼児のマスク着用の考え方

#### 要旨

**乳幼児のマスク着用には危険があります。特に2歳未満の子どもでは、気をつけましょう。**

乳幼児は、自ら息苦しさや体調不良を訴えることが難しく、自分でマスクを外すことも困難です。また、正しくマスクを着用することが難しいため、感染の広がりを予防する効果はあまり期待できません。むしろ、次のようなマスクによる危険性が考えられます。

- 呼吸が苦しくなり、窒息の危険がある。
- 嘔吐した場合にも、窒息する可能性がある。
- 熱がこもり、熱中症のリスクが高まる。
- 顔色、呼吸の状態など体調異変の発見が遅れる。

特に、2歳未満の子どもではこのような危険性が高まると考えます。

子どもがマスクを着用する場合は、いかなる年齢であっても、保護者や周りの大人が注意することが必要です。感染の広がりの予防はマスク着用だけではありません。保護者とともに集団との3密(密閉、密集、密接)を避け、人との距離(ソーシャル・ディスタンス)を保つことも大切です。

ベビー用等小さいマスクの型紙紹介、販売等がなされていますが、乳幼児へのマスク着用にはマスクの大きさにかかわらず上記の危険性があります。十分に留意しましょう。

[https://www.jpeds.or.jp/modules/guidelines/index.php?content\\_id=117](https://www.jpeds.or.jp/modules/guidelines/index.php?content_id=117)

## 7月17日(土) SUN SUNまつり

詳細につきましては感染状況を見ながら、6月中旬には決定する予定です。

今年度につきましても例年と同様の形で開催することは難しいと考えています。そのため、らいおん組・くま組さんが何らかの形で発表を行えることを念頭に、進行や内容、感染拡大防止対策について準備・検討を行っています。また昨年度と同様にSUNSUNまつりとは別の日に、「夏を楽しむ会」として、子どもたちが夏まつりの気分を味わえるような楽しいイベントも合わせて企画しています。